日伯新聞

伯國聖市マエストロ・カルヴァリオ街二九
ヴエルゲイロ街(二五八)
發行所 日伯新聞社
本紙定價 年六十・外國郵税共 百廿・

Sr. Kobayashi Midori
R. Galvão Bueno, 407

コロンス上陸へ

英政府の恫喝的抗議
我方絶對承服し難し
外務省直ちに回答を發す

（東京十八日同盟）コロンス問題に關し英國政府は十六日附公文を以て帝國政府に對し

コロンス島は國際共同行政の下にあるに拘はらず日本軍が陸戰隊を上陸せしめ巡羅捜査をなすことは强力干渉であり、日本軍の行動は何等法律的根據なきものである、速かに撤退を希望する旨の抗議を爲し來たつたので、外務省では十七日附公文を以て

日本軍のコロンス島上陸は共同租界に發生した抗日暗殺事件に對して現地視察中の我艦隊司令官を護衛すると共に抗日テロ行爲を鎮壓するためにとつた緊急措置に過ぎず、とのことはすでに現地に於て關係各國官憲に通牒濟みのものであり、これに對し英國が法律的根據なしとすることは帝國政府として承服し得ない旨回答した、なほクレーギー英大使は十八日午前十一時有外田相と會見、コロンス島事變に關する情報を交換要談した

十七日米國巡洋艦マーブルヘッド號、佛軍艦ビリーデーネンフイク號が入港碇泊した

【厦門十八日同盟】フランス陸戰隊廿五名は十七日深更英米に引續きコロンスに上陸した

背後關係調査に
陸戰隊一部殘る
英米佛艦隊も入港

【厦門十七日同盟】十四日早朝コロンス內領事館は協力して親日支那人總商會々長洪立勳暗殺犯人として有力な容疑者二名を逮捕したので、我が陸戰隊は背後關係調査のため必要なる少數部隊を同地に殘して撤退したが、十六日ノーブル大將坐乘の英國支那艦隊パーミンガム號入港に引續き十七日米國巡洋艦マーブルヘッド號、佛軍艦ビリーデーネンフイク號が入港碇泊した

【厦門十八日同盟】フランス陸戰隊廿五名は十七日深更英米に引續きコロンスに上陸した

在留米人保護
米艦入港の理由

【ワシントン十七日同盟】米國政府は十七日巡洋艦マーブルヘッド號を厦門に派遣し陸戰隊員をコロンスに上陸せしめたが、國務省は十七日米國間、彼我の砲聲は殷々として黃河を震撼した、我が竟驚群は敵軍事施設及び軍需品滿載

米國海軍陸戰隊は十七日アモイのコロンスに上陸した陸戰隊上陸の目的はコロンス租界工部局の統制力の及ばざる秩序紊亂によつて一般的に起ることあるべき個々の不法行爲及び危險から同租界居住米國人を保護する

歐洲情勢の對應策
參議會で意見具陳
政府の態度決定に資す

【東京十八日同盟】歐洲情勢對應策に關し內閣參議は去る十三日夜平沼首相から聽取した情勢報告に基き政府に對し參議會としての意見を具陳することゝなり、十八日の定例參議の席上右問題につき意見の交換を行つたが、歐洲情勢についてはその複雜微妙なる現狀に鑑み參議全體としての意見を取纒めることは極めて困難の立場にあるので同日の參議會に於て具陳された各種の意見を幹事たる秋田參議が一兩日中に平沼首相に傳達、政府の態度決定に資することゝなつた

死都重慶に慄く
慘敗國府の要人連
暗黑生活の脫走者語る

【漢口十七日同盟】昨年十月初旬武漢失陷にさきだち蔣介石のために軍慶に强制移住を命ぜられた漢陽兵器廠高級技師李子安（四〇）は重慶に於ける暗黑生活に憂悶をつかし、又漢陽市に殘した老母の身の上を案じ去る四月二十五日重慶を脫出し嚴重な途中の警戒線を突破して五月十五日遂に漢口にたどりついた、武漢失陷後重慶よりの最初の脫出者である、李子安は脫出した重慶の模樣を左の如く語つた

一、最近の狀況　國民政府が武漢から移轉した當時の重慶市內は概して平穩であつたが、最近四月頃日本軍空襲の際城門は破壞されこれ等と前後して衛兵十數名が卽死、朝天門を通行の際正規兵七、八、九名が爆死してから重慶當局は空襲の恐怖病に陷り上層階級のものは同盟擊の直後から郊外に避難し始めた、頻々と傳へられる空襲の噂に政府も遂に三月十日市民に對し强制避難を命じたため六、七十萬の人口が四十萬位に減少した、官吏の家族は無料避難の特典が與へられたにも拘らず一般下層民は避難するにも旅費なく却つて人心動搖の因となり、重慶附近に駐屯する軍隊は九十六の他四個師で三十六軍長姚沈愛が統率してゐる、九十六師は城內の分駐警備に、なお新編五個師は戰爭に經驗ある蔣校は全く拂底してゐる重慶には三十余の工廠があるがその生產能力は微力で宜昌兵工廠も重慶に移轉中である、軍事委員會、國防委員會も午前午後參集、重要會議を開催し、蔣介石が殆んどこれに出席してゐる、同會議場屋上には高射砲が備へられ、また約千人を收容し得る巨大なる防空壕が三つあり、內政、外交、交通、財政、司法、行政、教育、經濟などの各部は重慶郊外西北方双河岸附近一帶に散在し、政府各要人住宅もこの附近にあり、かくの如く總官邸中が人民の膏血を絞つた金で同岸の安全地帶に避難所をもつてゐるので怨嗟の聲が高い

一、經濟界の情況　政府四銀行が金融機關の中心で現在紙幣發行額は戰前の五倍となり惡性インフレを呈してゐる、生活必需品、一般諸物資は甚しく高騰のため中流以下は生活に堪へざる狀況で各所に平和論を聞き人心動搖の兆を呈して來た

一、その他言論機關も主戰論を强調して民心を誤感し支那軍の不利なる狀況及び敗戰狀況はこれが掲載を禁じ政府は强制的に戰費募集に躍起となつてゐるが民心は益々離反の傾向にあり、政府要人の大半は和平を熱望してゐるも言論取締り嚴しくてこれを主張する時は秘密裡に銃殺されるので表面化しないだけである

洪水にも心配無用
大黃河の災厄克服
皇軍土木に凱歌擧る

【開封十七日同盟】河南省東部及び東北部民衆は新鄉、開封間の鐵路完成で非常な恩惠を受け皇軍感謝の念に燃えてゐるが、更に我軍は雨期を控へて舊黃河流域の洪水を防止するため黃河の決潰點たる桃園の對岸から四萬噸の土砂を搬出し、新黃河の河口中三百米を千四百米の大巾に擴ゝ工事を一週間の超スピードで完成した、これにより增水期と雖も開封南方を中心とする河南省、安徽省面に亘る地域は全く洪水の災厄から完全に救はれることゝなつた、この工事は濟藤部隊長自ら指揮をとり自衛團一萬名を動員して敵

敗敵唯一の兵站線
潼關に最後の鐵槌
空陸呼應し猛攻の火蓋

【〇〇基地十八日同盟】我が陸の荒鷲山口部隊、中村部隊の精鋭〇〇機は敵が北支に於ける唯一の兵站線と頼む隴海線潼關の敵に最後的大打擊を與へるため、十八日午前八時卅分朝霧を突いて勇躍基地を出發これを急襲した、折から我が橋本、藤原兩部隊の〇〇砲も一齊に火蓋を切り空陸相呼應して壯烈なる塵滅戰を展は敵軍事施設及び軍需品滿載の數十車輛、驛、建物などを走せしめたる外、他の一部隊は陸軍部隊に協力し南昌南方木ヶ葉微塵に粉碎多大の効果を收めて全機無事歸還した

蠢めく殘敵
斷乎痛擊
海鷲中支に活躍

【上海十八日同盟】艦隊報道部發表、中支方面で昨十七日海軍航空隊は太平關附近に蠢動中の殘敵を痛撃しこれを潰滅した

陸の荒鷲群
山西南部に活躍

【〇〇基地十八日同盟】陸の荒鷲中村部隊、津野部隊〇〇は十八日午前七時五十分勇躍基地を出發、山西々南部の千七百高地五龍宮、綾山縣東北廿キロ及び八寶官附近で猛襲これを殲滅した

靖安奪還企つ
頑敵を粉碎

【〇〇十八日同盟】靖安縣城奪還を企圖して蠢動中であつた各一線の敵に對し我〇〇部隊は十六日朝來猛攻を加へこれを撃破した、敵遺棄死體二百

敵一千を包圍
通城方面戰況

【漢口十七日同盟】十六日以來湖北省通城東北方廿キロ附近一帶の山地線に據る一千の敵を包圍攻撃中の我軍は十五日拂曉敵第一線陣地を攻略、更に敗敵を猛攻中である

飽迄頑迷な米政府
日本側要求に不滿
燻る上海共同租界問題

【ワシントン十七日同盟】日大使を通じ米國政府に對して本政府は去る三月グルー駐日

トーチカ陣地よりの猛射を浴びつゝ難工事を完成したものである

上海共同租界の地位に關する日本政府の見解を申入れたが十七日國務省はグルー駐日大使を通じて

一、共同租界工部局の日本人代表增加

一、土地章程の改正

一、特區法院の變革

などに關する日本側の要求には同意し難い旨の覺書を日本政府に手交したと發表した

詩人の感情寄せ
日伊親善の契り
深尾女史、チアノ外相と對談

【ローマ十七日同盟】過般來文化使節として訪伊中の女流詩人深尾須磨子女史は十七日キジ宮にチアノ外相を訪問、日獨伊親善協會の使節として同協會からムツソリーニ首相に宛てたメッセージ及びチアノ外相に宛てた有田外相の寫眞を手交した後、深尾女史は日本と日本國民のイタリーとイタリー國民に對する尊敬と感謝の意を傳へた、これに對しチアノ外相は燃軍に謝辭を述べたのち日伊兩國の協力により世界をより良き狀態に導くべきであると答へ、更に近日中にムツソリーニ首相がローマ歸還の際には是非女史を引合せる旨約束し約廿分で此の會見は終つたが、チアノ外相は最近の自分の寫眞を有田外相へ贈りたいから傳達されたいとつけ加へた

外務省に一異彩
條約局のお役人が法學博士
苦心の論文見事パス

【東京十八日同盟】國際平和組織の研究で外務省のお役人が法學博士になり十八日文部省から發表された、新博士は外務省條約局第一部第一課の細野軍治氏（四四）で同氏は大正十年渡米、北米南加州大學、コロムビア大學に學び更にフランス、スイス、オランダ等に留學、國際法を研究十四年歸朝條約局に勤務以後は十三年以來歐米に出張を命ぜられてゐるが博士論文は國際裁判と安全保障（集合的平和組織の研究）と題し、世界大戰後の國際條約の變遷に就き研究、平和機構の想定に寄與するところあり、東大法學部教授會をパスしたものである

鳳翼のぱす
そよかぜ號
カルカッタへ安着

【カルカッタ十七日同盟】日伊親善の使命を果して歸國の途にあるそよかぜ號は十七日朝カラチを出發以來快翔を續け、地方時間十七日午後二時廿四分カルカッタに安着した

長芦（チヤウロ）鹽の開發へ
北支會社愈よ本腰
華北鹽業（假稱）を設立

【東京十八日同盟】北支開發會社では長芦鹽の開發事業に當るため愈ゝ政府にその子會社として華北鹽業會社（假稱）の設立認可を申請中だつたが、今度政府の認可を得たから、今度政府の認可を得たので表面は該會社の資本金は二千萬圓乃至二千五百萬圓の間に決定した、その出資割合は大體支那側並びに開發會社の全額に落ち着くものと見られるが、開發會社は興中公司その他の所有鹽田を以てその出資の大部分に充當し、支那側現金出資を行ふ筈、而して右鹽業會社は差し當り鹽業のみを行ひ同時に出張を命ぜられてゐるが、その出資割合は大體支那側に當る外必要に應じて既存の支那側經營者に資金の貸付けを行ふ、その生產鹽の買付け並びに販賣を營むことになつて居り、社長は現興中公司取締役內田敬三氏に內定した

ガブレンツ機
盤谷へ安着

【バンコック十七日同盟】十七日午前ハノイを出發したガブレンツ機は午後四時半バンコックに安着一泊した

日伯漫談

須田町人

そりやまあ解らんことは領事館に尋ねるのもよりがすが、そう何も彼も領事館を煩はすのはよくねえことですなあ、昔なら兎に角今じや三十萬近くも日本人が居て、何所へ往つたからとてパトリシオに會はぬことはどわせん、それに至る所日本人會だの青年會だの產業】組】合だて、大抵のことは其所で解つて居て教へてもらへる筈です、まといふのが、單に漠然と日本精神を云々するだけで、少しも土地の實情にそぐわぬ團體なら、それこそブラジル側で彼此云ひ出す迄もなく、早く叫きつぶした方がよろしい、衙くも團體と名の付く限り、少しはパトリシオのためになるやうなものでないとあきまへんなあ、卽ち細々した事は一々領事館を煩はすまでもなく日本人會か青年會か產組に聞けば解るといふやうにならねばなりません、それを大抵はエラそうに何々日本人會何々青年會など〻銘打つては出るものゝ、パトリシオのためになるちゆう氣がないものですから旗日の行列にしか役立ず、そんなことは日本人會か青年會に聞きや解るといふ【【域】に達して居ません【【それとも

う一つお客さん方の惡い癖は、同じことでも領事館の人に聞かねと安心がいかんどうも日本人會や青年會に聞いたのじやたよりなくてといふ風で、昆でもねえことまで領事館を煩はす、こいつがイケませんね、日本じや【【女房が】】【【情夫】】をこしらへて逃げた、一つ捜索しておくんなさいと願出ればイヤでも諾いてくれますが、ブラジルに來てる外國の領事館は、日本に限らず何所だつてそんなこたあ頭で取上げてくれません、ブラジルへ來た限り何も彼も自分でやつて行くのが、逃がれられない建前でしてなあ、商人だつて領事館に一向用事のねえ方だと商賣は旨く行つてますが、何の彼のと頭を下げて頼みに行かねばならぬやうでしたら、どうせ碌なとはねえにきまつてます、それで地方の日本人會青年會產組などは、漠然と日本精神を高揚するのも惡くはごめせんが、も少し土地の實情に卽してパトリシオの自治を補助する機關になつてもらひたいものですなあコレ李兵衛さん今度外國人の登錄とやらがふつようだ風だが一體どげえにするんだんべえ領事館に尋ねてみべえか、そりやおめえ領事館に聞かないだつて日本人【【會の書】】【【記さ】】んに聞きや解らあ四百レースの切手損するでねえ、ピンガ呑んだ方がよかんべえ、地方の團體といふのも此所まで來なければウソなんです、そうなると細々した【【戸籍】】【【事務の】】一端も任かされませうし、證明書だ何だでガニヤもあらふしといふ譯で段々よくなりませう、日本人社會には他の外國人に比べて遙かに多くいろ〳〵な團體がありますが、いくらあつたからとてそいつは自慢にやなりません、土地の實情に卽せないものは榮るどころか必ず自滅しますから、獨りよがりや自己免責でいくらどんな團體をこしらへても、そいつはあきまへん

新價格
コロムビア蓄音器
五月一日より一齊値上
第二二〇號……九五〇ミル
第二一三號……七五〇ミル
第二一四號……六〇〇ミル
第二〇三號……四〇〇ミル
第二〇四號……三五〇ミル
第五十六號……
第二三〇號……
日伯社コロムビア部
ドーコレアビムロク

募集
文撰二名
植字二名
少年（六七歲位）數名
高給を支拂ふ、面談のこと
日伯新聞社

港の霧夜
大友博
まあ聽いてくんネ！
海のあらくれ男にも
血あり涙のあるつて事
をよ……
一夜泊りの港さへ
碇卷くときや淡ぐもり
切るに切れない
情の綱が
今宵夜霧に
濕れて泣く
（レコード番號六九二〇二）
日伯社コロムビア部
ドーコレアビムロク

英ソ交渉行悩み

歐洲政局は再び膠着狀態に入つた觀がある、一觸卽發戰爭の危機は目前にあるとして各國共外交戰に火花を散らし軍備擴充に血道を上げてゐる昨秋ミュンヘン會談によつて招來された獨伊英佛四國の平和指向は獨乙のチェコ併合で一擧に破れ、現在ではダンツヒ問題を繞つて獨伊、英佛の對立は全く尖銳化し、この兩勢力を繞つて歐洲を紛爭と混亂に突落してゐる、當の獨伊英佛と狙はれた餌食ポーランドの外、隣合の弱小國は措いて局面に最も大きくクローズアップされて來たものはソ聯であらう

ソ聯は大體ミュンヘン會談によつて歐洲政局から素氣なく放逐され、當時スターリンの如きは英佛更に米の民主國に對し盛んに毒吐いたものであるが、今度はソ聯を袖にした英佛側から手の平を返へす樣にチヤホヤされ出したのだからこれ程の皮肉はなからうそれも一寸先は闇、有爲轉變の國際情勢の致す所と云つてしまへばそれまでゝあるが、英佛側に如何に主義も節操もなく又我一人行くといふ氣慨がなく醜態を曝してゐるものと云へよう、しかも相手の足許に付込んだソ聯は英佛側の提案

有難迷惑な話

布教の苦心は尤も乍ら 日本人の惡口は眞ッ平 的はずれなレビー教授の講演

在聖市のブラジル名流婦人によつて組織されるカトリック婦人會では昨十七日午後五時より本部で、講習會を催し、宗教家ルイス・ゴンザガ・レビー氏の「在伯日本人布教事業について」と題する講演を聞いた、同氏はサンパウロ州並に在る日本人の動靜を克明に寫しとつた幻燈を映寫しながら講演を進め、在留邦人間の布教に從事してゐるマルチンニョ牧師のことについて述べ、その努力を賞揚したが、講演の中で再三に亘り在留同胞を誹謗するが如き宗教家にあるまじき言辭を弄したことから俄然聽衆のひんしゅくを買ひ講演會をスツカリ不快なものにしてしまつた

當夜の講演會は在留邦人とも顔馴染のマルチンニョ牧師の司會で總領事館よりは淀川領事、齋藤副領事、藤本書記生が參會、その他數名の邦人婦人の信者の顔も混つてゐた、先づマルチンニョ牧師の紹介で講演を始めたレビー氏は幻燈によつて新來同胞のサントス上陸より移民收容所での生活、配耕地に向ふ光景から更に進んで奥地に於ける邦人植民地の狀態を克明に映寫しながら

日本人はこんな風に日本人だけ固つて生活しブラジル人と接觸しない、小學校はあるが、そこではブラジルの事情を教へやうとはしない、こういふ環境にある日本人おまけに言語不通の日本人を改宗させやうとすることは非常な難事業である、この困難を克服しながら日本人間のカトリック布教に專心努めてゐるマルチンニョ牧師の努力は全く敬服に堪えないものである

と、在留同胞がよくブラジル人と協力懇々として伯國の開發に從つてゐる功績、邦人兒童が完全にブラジル教育の義務を履行しつゝある事實を無視して、何かしら奥歯に物の挾まつたやうな言ひまはしで講演を續け、更にコンデ街の風景から日本病院に移り

日本病院は日本政府の手によつて建てられたものであるが、慈善病床は一つもないではないか

と詰つき、しかもサンタカーザの寫眞を映した直後に日本病院を映寫するなど皮肉タツプリな仕草をやり、次いで昨年來伯したカトリック親善使節山本少將に言及し

山本少將が如何なる使命を帶びて來たか未だに諒解に苦しむ

と如何にも政治的意味で來伯したかのやうに語り、又マルチンニョ牧師が自動車に乘つてゐるところを寫しては

この自動車は獨乙人たちが買つて與へたもので、マルチンニョ牧師はこれに乘つて日本人の教化に努めてゐる

などと言はいでものことをロ走るなど全く宗教家にあるまじきの言辭の連發に聽衆はスツカリ呆れ返つてゐた

レビー氏の講演終るや淀川領事は會長の諒解を得て聽衆の誤解を解くため一場の講演を行ひ、事實に相違したレビー氏の講演を堂々反駁したが、

日本病院については日本病院は日本人の信望を集めてゐる高なる赤十字の大精神の下に國籍を問はず病人を收容溫い救護の手を差し延べやうとするものである、正式開院の曉には事情の許す限り慈善病床を一つでも多く設けることを期してゐる

と述べ、次いで山本少將の來伯について

山本カトリック使節の使命が、ただ宗教による日伯親善の增進を目的としたものでは決して他意ないことを强調し、しかもこれによつて

在留同胞の改宗を非常に促進してゐる

と語り、更に

日本人はど宗教に對し自由寛大な思想を持つてゐるものはない、畏くも宮廷に於かせられても左樣であつて

たまりかねた淀川さん 席を蹴つて堂々反駁 滿場に拍手喝采の嵐

天晴れ街の本因坊

天狗クラブ定例囲碁大會は十四日午後一時から、於バチリ坊

で見ん事優勝、二等岡、三等岡崎、四等瀧谷、五等三好、六等河野の順

頑張れ・シーズン近し 東洋連覇の偉業！ 昂るソロ線陸上競技大會

汎パラグワスー陸上競技大會

パラグワスー青年聯盟主催の第七回汎パラグワスー陸上競技大會は去る十四日同市飛行場に於て盛大に擧行された、參加チームは文化、東洋、アングア・デ・ガラフア、ポンチンニヤ、リベロン・グランデ共和、ルテシアの七チームで非常な賑ひであつた

午前九時汎パラグワスー青年聯盟創立總會を終つた後入場式を行ひ、まづ先年度優勝の東洋チームより優勝旗返還、委員長挨拶、審判長の訓辭など型の如く終り百米豫選から開始された

用後の競技場のコンディション惡く從つて記錄も一般に低調であつたが、青年の意氣は示して余すところがなかつた

チーム成績では昨年度の王者東洋チーム若松以下の精鋭依然たる强味を示し第二位の文化を遠く引離して二年連續の偉業を完成した、記錄左記

▽トラックの部　百米—吉田（共）一三秒八、二百米—小田島（文）二九秒八、四百米—若松（東）一分〇七秒、八四、千五百米—高橋（文）五分〇七秒四、五千米—井口（文）二〇分二九秒二、一萬米—井口（文）四七分〇五秒五、四百繼走—共和五八秒千六百繼走—東洋四分三五秒

▽フイルドの部　走幅跳—尾花（共）五米七四、走高跳—佐藤（文）一米六四、三段跳—若松（東）一一米九六、棒高跳若松（東）三米、砲丸投—杉山（文）一〇米九五、槍投—加藤（東）四五米一五、闘盤投—尾花（共）二五米三六

▽チーム得點
1洋東　四一點
2文化　三三
3共和　二二
4ルテシア　三
5ガラツフア　二
6ポンチンニヤ　二
7リベロングランデ　〇

大相撲夏場所 横綱男女遂に黑星

【東京十八日同盟】夏場所大相撲八日目勝負仲入後

松浦潟（浴倒し）藤の里
桂川（外掛け）高登
嶺幡（叩込み）相模川
青葉山（押倒し）倭岩
大潮（寄切り）松の里
番神山（叩込み）神東山
佐賀花（打棄り）出羽花
大邱山（突落し）楯甲
和歌島（寄切り）巴潟
兩國（吊出し）幡瀬川
照國（極出し）綾若
大和錦（寄倒し）磐石
安藝海（押出し）富士嶽
綾昇（内掛け）大浪
旭川（打棄り）駒の里
笠置山（寄倒し）金湊
玉の海（寄倒し）鵜の里
羽黑山（腰捻り）鹿島洋
出羽湊（腰碎け）
前田山（送出し）名寄岩
鏡岩（下手捻）五ツ島
双葉山（吊出し）肥州山
龍王山（寄倒し）男女川

打出し六時十四分

群がる秀才を蹴落し 天晴れ！一等の榮冠獲得 全國中等學校智能競技

中等學校學術コンタールは過日リオにて全國中等學校學術コンクール（マラトナ・インテレフトール）が開催されたが、同コンクールに於てサン・パウロ州立中學の秀才を代表した二邦人二世が見事一等と三等の榮冠を獲得、伯人をはじめ各國人二世の間に萬丈の氣を吐いた

詮衡を受けることになるが學校としては最も受賞者の多き組が國内で優秀な學校と折紙をつけられるわけで

邦人入賞者の一人は一年生の歷史科で大野カズ子さんが一等、三年の算術では太田君が三等を得てゐる、興味あることとは十人の代表者中邦人二世が二人、歐洲系伯人二世が二人、殘つた六人が純ブラジル人であることである、各入賞者には一等は二ケ年間の學費もしくは二コントスの現金二等には一ケ年の學費或ひは一コントスの現金、三等には學校の制服及び教科書その他學用品が夫々賞品として與へられ、來る六月の休暇にリオで授與式が行はれる、なほこの光榮ある逸才の育生校としてのヂナジオ・ド・エスタードではこれによつて聯邦教育局より認められ、現在の假校舍も近代式な校舍に改められることになるのは確實だとして大喜である。

夫婦喧嘩がもとで アワヤ人妻投身自殺 三途の川一歩前で救助

去る十一日正午北パラナ、ロンドリーナ市發トレスパラスゆきの乘合自動車が兩地中間を流れるジヤタイ川の渡場に差しかゝると、四十歳前後の日本婦人がションボリ川面を眺めて佇んでゐるので不審に思つた某邦人が自動車にストップを命じて尋ねて見ると

彼女はロンドリーナ市在住山田寛子（四九假名）と稱し十月夜夫婦喧嘩の末、着のみ着のまゝで家出し女の身で深夜廿五キロの道を徒歩でジヤタイ川目指して歩き身投げを決意してゐたこと判明

とにかくトレスパラスまで乘合で連れ來り山口某氏妻女菊野さんが保護を加へてゐたが

この程同女の靈力でその不心得を諭し元のサヤに納まることゝなりロンドリーナへ送り歸したと

福岡海協支部へ感謝狀

昨年九月ビリグヤ及びアリアンサに於て失々福岡縣海外協會の支部が設立された事は既報の通りであるが、その後同協會では福岡縣出征軍人遺家族慰問金を募集中の處昨年十一月廿六日聖市總領事館を經てビリグヤ支部　十二コント
アリアンサ支部　二コント
七百二十五ミル

を福岡縣知事宛送金したが、これに對し本年二月三日付で感謝狀を添へ領收書を送つて來た

農家に福音 京野式 アラード發賣

……農具は今や掠奪的より合法的に移り馬耕工作によつてなほ一層の成績を擧げるべく努力しゝあるが、この馬耕用具の多くは海外にその供給を仰ぎ高價で然もその使用上少からず不便を感じ誰もがもつと安く使用安易な馬耕機は出來ないものかと痛感してゐた折柄、今度バストス移住地京野鐵工場主京野氏が手輕に使用簡便で然も極安の京野式改良アラードを發明した

流線型

×……

◉……外國人登錄で聖市警察課に外國人殺到、とう〳〵悲鳴をあげた課では鑑識手帳は用紙や何か不足だから暫く一日二百人限り受付けるとお達示、皆さんまあゆつくり屆けることにしませう

◉……祭日といへば眞先に門を閉める領事館が母國非常時の折柄ノメ〳〵休んでゐられるか……と日支事變以來たいていの旗日には一同出勤事務を執つてゐる、その意氣〳〵

◉……過日ベルーのリマ市で僅か五歳の女兒が赤ん坊を生んだといふ噂のような本當のニュースが傳つたが、これを聞き傳へた氣の早いアメリカ人、紐育の萬國博に出品（？）すれば週一千弗を支拂ふといふ飛電を打つた、もし契約成立すれば飛行機を提供、旅費はモチ向ふ持ち、流石ヤンキー金儲けには拔目がない

◉……リオ州では今度グリセリオ發電所改裝費としてカイシヤ・エコノミコに二萬五千コントの借款を起すことになり、アマラル執政官はこの旨許可のデクレットを出した、ブラ拓さん一つ乘り出して見ませんか

◉……昨日カトリック婦人會本部で行はれた「在伯日本人布教事業について」と題しまするレビー氏の講演は在留邦人に對する皮肉とし解えなかつたが、これには婦人會長さん始め多數參會の御夫人連もスツカリ氣の毒がり淀川さんへ謝罪とれ努めてござつた、やつぱり解る人にはチヤンと解つてをりますワイ

◉……さきに東山本社より汎ノロエステ陸上競技聯盟へ壯麗なる優勝旗が贈られたが、今度また〳〵バ延長線陸上競技聯盟に對しても同じく美事な優勝旗が寄贈されることになり、同地方青年を感激させてゐる

×……

爲替

（聖市十八日）

	自由	公定
英	八、八〇〇	七、〇八〇
伯米	一八、九五〇	一六、四四〇
伯日	五、一五五	———

市況

	買	値
▼アロース	五八、〇〇〇	五三、〇〇〇
アグーリヤ（ラツク）		
同（ポン）		
▼フエジヨン	五二、〇〇〇	四八、〇〇〇
ムラチーム		
同（ポン）		
ミーリヨ	一五、八〇〇	一四、八〇〇
アマレリンニヨ		
アマレリヨン		
▼バタタ	三五、〇〇〇	三二、〇〇〇
スペリオール		
▼砂糖（ラツク）	七、〇〇〇	六、〇〇〇
▼小麥粉	四四、〇〇〇	四四、〇〇〇
バーニヤ（箱）	一八、〇〇〇	一八、〇〇〇
▼マモーナ	一、五〇〇	一、五〇〇
▼カフエー（四級品）	三〇、〇〇〇	二六、五〇〇
▼アルゴドン		
野菜部（蔬菜部調）十八日		
▼トマテ（箱）	三八、〇〇〇	三〇、〇〇〇
▼レポーリヨ（袋）	一五、〇〇〇	一四、〇〇〇
▼エルヴイリヤ（箱）	七、〇〇〇	三、〇〇〇
▼ピメントン（箱）	九、〇〇〇	八、〇〇〇
▼バージエン（箱）	一、一〇〇	一、〇〇〇
▼ベビーノ（箱）	三〇、〇〇〇	二三、〇〇〇
▼バタードセ（仮）	四四、〇〇〇	四四、〇〇〇
▼ポブリーニヤ（箱）	一、一〇〇	一、〇〇〇
▼セノーラ（東）	三〇、〇〇〇	二三、〇〇〇
▼セノーラ（箱）	四、二〇〇	四、〇〇〇
▼コーベツロール		
▼玉子（打）		

急募

十六歳位より二十二歳前後青少年二、三名
詳細面談
コンデ・デ・サルゼーダス街八一
久留米屋製菓所
電話二・六二〇七

貸家

▼場所　ルア・ド・スイングレーゼス一九五
四部屋食堂付家賃水道代共三二〇ミル、眺望絶佳御照會は
海興村井宛

尋人

廣島市實町四〇三番地
白倉一郎
右の者に對する賞賜物件當館に到着したるに付本人又は同人父白倉松二郎右受領の爲め當館に御出頭相成度し
昭和十四年五月六日
在サンパウロ
帝國總領事館

社告

マリリア　金子佳央
バストス方面　安藤國雄
モヂアナ線　鈴木典
パウリスタ本線　大谷龍水
ボンペイア　小畑秀雄
オウリンニヨス　田中行雄
パラクルス　中山眞男
ア・ブルデンテ
ア・マツシヤード
パルミツタール　金森茂
パラグワスー
ランシヤリーア
ノロエステ變更線手島明記
ノロエステ線方面砥上正治
右各出張員を出張致させて居ります、諸賢の御配慮を願上ます

日伯社營業部

急告

昨年以來母國大阪市にて作製中の實況大寫眞帳は此程立派に完成して六月入港のセンテビデオ丸で荷着する事になりました、時局柄製本が非常に暇取り且つ爲替管理法により出荷上いろ〳〵手續を要したため豫定より大變遲れました事を御詫び申上ます

アルバム　は損失を覺悟して責任製作した豪華美術品故豫約の皆樣には必ず御滿足せらるゝ事と確信致します。荷着次第急配致します故、漸く御猶豫の程伏して御願申上ます

次で豫約部數以外は豫約者と雖も一冊百八十ミルであります。若し余分があればお配けします遠藤書店へ御申込下さい

聖市　竹下寫眞館
豫約者各位

謹告

先般來弊店廣告文中に
Rua Sta. Ephigenia 375
Caixa Postal, 1000
とありましたのは誤りに付、左の如く訂正致します
Rua Sta. Ephigenia 37
Caixa Postal, 1005
家具材木商
カーザ・東京
TOKIO

御視察下さい ナラパ北 いさ下御視察

讓分地土トッニアリピ

日伯社會業產社

分讓地八千アルケーレス。耕地内を鐵道が貫通す。驛から一番遠い處で僅かに十キロ米突賣却濟約二千五百アルケーレス。地價四百ミル以上一コント二百ミルまで四ケ年賦無利子

◇案内は
驛前グロリアホテル
西村市助

Rua 11 de Agosto, No. 66 5º andar sala, 29 - C. Postal, 3329 - São Paulo

付註釈 ブラジル民法

第五輯
「附」新法令集及法律辭典、定價廿二ミル、金文字廿五ミル
送料六百ミル　EIZO SUZUKI C. P. 3123 - S. Paulo

NIPPAK SHIMBUN

Diario Nipponico de maior circulação no Brasil

ANNO XXV — São Paulo — 6.a feira, 19 de Maio de 1939 — Num. 1.709

NIPPAK SHIMBUN

PROPRIETARIO
SACK MIURA

DIRECTOR Masaaki Udihara — GERENTE Alfredo Takeuchi

Redacção — Administração e Officinas
Rua Maestro Cardim, 1109
Telephones: 7-3325 e 7-3326
Caixa Postal, 375
Endereço Telegraphico: "Nippak"
SUCCURSAL:
Rua Conde do Pinhal, 154
Telephone 2-3926
SÃO PAULO — Brasil

Assignaturas

PARA O BRASIL
Por anno ..... 60$000
Por semestre ..... 30$000

PARA O EXTERIOR
Por anno ..... 120$000

Annuncios

Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços para annuncios nesta folha

A primeira visita do Sr. Togo ao departamento de Negocios Estrangeiros da U. R. S. S.

Moscow, 14 (Domei) — O embaixador do Japão, junto ao governo sovietico, Sr. Togo visitou hoje ás 20 horas o sr. Morotoff, o novo Commissario do povo para com os Negocios Estrangeiros do governo sovietico, tendo conferenciado cerca de uma hora.

Na entrevista, que é a primeira após a nomeação do substituto do sr. Litvinoff, foram abordados os numerosos problemas russo-nipponicos, tendo merecido especial attenção a questão dos direitos japonezes na Sakhalina do Norte. O sr. Togo solicitou, em nome do governo imperial, especial attenção do governo sovietico quanto a esta ultima pendencia.

ANTES TARDE DO QUE NUNCA

Um artigo do snr. Wang sobre a negociação de paz nippo-chineza

Hong-Kong, 14 (Domei) — O "Shinka Nippon" orgão official do ex-ministro chinez, Wang-Ching-Wei salienta num editorial que publica na sua edição de hoje as ameaças da paz mundial. O editorial que é da autoria do proprio Wang, diz entre outras cousas:

"No meu, modo de ver, dois caminhos ha, para o Japão conseguir a paz. Um delles é a negociação directa nippo-chineza, sendo este o mais acertado. O outro é o accordo nippo-britannico. Mas deve-se saber que a Inglaterra não é para a China tão util quanto o Japão, por ser ella muito passiva nas suas attitudes. Assim já tive occasião de declarar. Os principaes chefes do Kuomintang que se mostraram contra a minha attitude, desejando uma negociação com o Japão, mediante o apoio geral dado á China pelas grandes potencias, estão vendo que essa hypothese torna-se cada vez mais difficil de se realizar. Esse constituiu o erro fundamental do governo chinez.

Si uma guerra mundial advir neste momento, o conflicto nippo-chinez constituirá uma parte della.

Numa situação como esta, a China não terá nada a lucrar. E é por isso que tenho sempre frizado uma negociação rapida e directa nippo-chineza. Conforme já bastas vezes affirmei, aquella occasião da declaração do primeiro ministro, principe Konoye, fora a mais aconselhavel para a negociação da paz. No entanto, ainda não é tarde, pois é indispensavel que a paz seja negociada entre a China e o Japão antes que venha rebentar no velho mundo uma segunda guerra mundial".

O avanço das tropas imperiaes

TOKIO, 15 — As offensivas nipponicas, tanto terrestres como aéreas, iniciadas no principio do mez corrente, contra vinte e nove divisões chinezas na provincia de Hupeh, estão sendo coroadas de pleno exito, segundo communicado official, hoje divulgado pelo porta-voz do exercito japonez na China Central. Accrescenta o communicado que já vinte e tres divisões e duas brigadas mixtas foram castigadas, tendo sido postos em grande confusão e perdido, inteiramente, o espirito combativo. O porta-voz do exercito japonez, em Hankow, declarou que as tropas acceleraram seus avanços, não tendo tido tempo, ainda, de calcular o numero de mortos deixados em campo de batalha, pelos chinezes, e prisioneiros feitos aos mesmos, os quaes são, todavia incalculaveis. O commandante em chefe das tropas chinezas nas frentes de Hupeh, general Tangenpo, desertou de suas tropas, tendo fugido por via aerea.

A transferencia dos orgãos governamentaes do Kuomintang

Hong-Kong, 7 - Domei — Segundo noticia positivas, o general Chang-Kai-Chek, após ter deixado Chungking com destino a Kayigkin, que no dia 6 do corrente, partira repentinamente de avião juntamente com sua esposa e o embaixador Kerr rumo á provincia de Szechwang.

Hong-Kong, 7 - Domei — Telegrammas de Chengtu, da provincia de Szechwang, informam que o General Chang-Kai-Chek, sua esposa, e embaixador britannico, sr. Kerr e varios membros do Alto Conselho de Guerra chegaram áquella cidade ao meio dia do dia 6 viajando em tres aviões, protegidos por 24 aviões de caça. Consta que logo ao chegarem naquella cidade, realizaram uma importante reunião, tendo sido tratada, na mesma, a questão da transferencia dos orgãos governamentaes para a cidade de Chengtsu. Pelos preparativos de transferencia que estão sendo levados a effeito pela commissão de defesa e pelo conselho de guerra, julga-se que Chang-Kai-Chek permanecerá em Chengtsu. Em breve a politica anti-nipponica da China concentrar-se-á em Chengtsu, tornando-se, esta cidade, a capital do Kuomintang.

A participação do Japão numa competição athletica

De approximação nippo-sino-mandchú

TOKIO, 13 — (Domei) A Federação dos Amadores de Esporte do Japão, deliberou em sua ultima sessão da directoria fazer representar o Nippon, na grandiosa competição esportiva de approximação nippo-sino- mandchú a realizar-se no mez de setembro p. na capital do Mandchukuo.

A équipe japoneza será constituida de 65 melhores athletas de todas as provas e a sua partida dar-se-á no dia 20 de agosto proximo.

Outrosim, a équipe participará tambem do certame esportivo a ser realizado no dia 26 e 27 de agosto em Tairen e, depois da competição do Hsinking, os athletas japonezes darão demonstrações de technica esportiva em Mukden.

A compra de objectos de ouro pelo governo da ilha Formosa

Taihoku, 11 (Domei) — A acquisição de objectos de ouro pelo governo da Ilha Formosa, graças ao patriotico espirito de cooperação decisiva do seu povo ás obras reorganizadoras do Oriente Asiatico, já ultrapassou a casa dos 50 milhões, registrando no dia 9 p. p. a importancia de 50.013.000 yens.

Movimento pro' paz

Hong-Kong, 17 — Despachos de Chungking informam que o movimento pró-paz, promovido e sustentado pelo sr. Wang-Ching-Wei, ex-presidente da Yuan-executivo e que se separou do general Chang-Kai-Chek por estar em desaccordo com o seu ponto de vista politico, está despertando grande attenção no meio governamental de Chungking. O governo do Kuomintang, após ter realizado uma reunião secreta, teria dado instrucções ás autoridades locaes no sentido de fazer repressão aos movimentos dos elementos favoraveis á paz, e que está sendo augmentado cada dia mais. Accrescenta, os mesmo informes, que algumas repartições governamentaes em Chungking já teriam sido transferidas para Chengtsu, na provincia de Szechwang, estando, as figuras importantes, acompanhadas de suas respectivas familias, se retirando de Chengtsu diariamente.

Cartas do Extremo Oriente

Estabilisada, embora em caracter transitorio a situação nos Mares do Norte

Frustrada a tentativa sovietica de arrebatar os direitos nipponicos

(Do nosso enviado especial)

3

Um exemplo dessa violencia está na prohibição illegal do ingresso dos nosos pescadores nas áreas fóra dos lotes, mesmo quando determinado pelas necessidades do serviço. Assumptos havia que só podiam ser solucionados mediante consulta ás autoridades sovieticas com séde fóra dos districtos de pesca concedidos aos nipponicos. Os habitos permittiam que nessas occasiões estes ingressassem livremente em territorio sovietico. Mas, durante o anno que findou, os pescadores nipponicos tiveram que perder mais de 700.000 yens (3.500 contos de réis) por terem aguardado que as autoridades sovieticas viessem solucionar certos assumptos de inadiavel urgencia.

A outra difficuldade imposta pelo governo sovietico aos nossos pescadores nos Mares do Norte é a questão de vistos consulares. Segundo o Art. 10 da convenção, os subditos nipponicos podem seguir livremente aos campos de pesca uma vez preenchidas as formalidades legaes. No decurso de 1936 a 1938, porém, 24 pescadores nipponicos tiveram os seus "vistos" recusados, sem motivo justificado. O outro obstaculo — justamente o mais deshumano — que os soviets não cançam de impôr é a restricção de generos alimenticios.

Em linhas geraes, tal foi a violencia e a brutalidade com que os soviets procuraram difficultar as actividades nipponicas nos Mares do Norte, cujos direitos legalmente obtidos querem burlar. Desde 1937 até o fim do anno passado, houve 160 casos dessa natureza. O total das multas indevidamente impostas pelas autoridades sovieticas se eleva a 2.500 contos de réis!

Para mostrar que o direito nipponico á pesca nos Mares do Norte não é simplesmente uma questão de direito internacional, vamos nos referir aqui ao primeiro pescador nipponico — Kutsuma Hashiguchi, que explorou esses districtos. Se bem que a industria de pesca nesses mares date de tempos muito remotos, a industria organizada foi, todavia, iniciada em 1907, isto é, posteriormte ao Tratado de Portsmouth.

(Continúa)

血汐曼陀羅

(講談速記化) 木俣茂彦 作 — 橋爪 七

【119】

妖花抄 (三)

夢か。

萩江は、われを忘れて見物席を離下してゐる……。

その、視線の落ちてゆくところに、五分刈代の三井眞十郎が、凝ッとこちらを見てゐるのだ。

あの夜——

出火と同時に、紛れ出てしまつた眞十郎、生死のほどは、それから、どんなに彼を捜し求めたことであつたらう。

悔や、泪や、そんな弱氣は微塵にも見せない萩江であつたが、あの夜の業火に、一切のものを奪ひ去られ、しみじみと自分の妻を見詰めたとき、女の求める本當のものは——生き甲斐は、よくも悪くも、正しい支柱を離れてはあり得ない。

その支柱、自分をしつかりと支へてくれる強い柱は、男でなくて何であらう。

然も、萩江は、その男を、いつも遊戯の對照としてのみ眺めてきた。男は——女のおもちやだと。

だが、あの業火に見舞はれて、人生の轉機に遭つた彼女の心には恐ろしい強靱な力を以て、三井眞十郎をこそ、男の中の男と慕ひ、身も、心も、魂までも添へて預ける主であることを始めて悟つた。

仇し心で、彼らに彼の力強い抱擁や、きッと結んだ唇を望んでゐた氣持が恥しく……ありもしない女の理智をひらめかし、籠塚主税之助の傲慢に取つて替らうと企てたり、漢屋の秘事に喰ひ入つて、その嬌慢心を充たさうとする醜さを拾て、一圖に、彼女は、彼を求めに、否——捜しに、限なく江戸をたづね歩いてゐたのだつた。

そして、不幸にも、猿若町の樂屋横丁を捜し出さず、最早や、三井眞十郎の妻は江戸に無いものとあきらめて、自ら求めて、彼女は旅藝人の群に投じ、今では、座頭として流々轉々の漂泊を續けてゐるのだつた。

何が爲に?

それは訊くのをやめたはうがいい。

彼女の胸には、絶えず眞十郎が生きてゐる。正氣を取戻じ、眞の男の生き甲斐に奔命するのだつた。

にッと笑つて呼びかけてくるのだつた。

(會へる。きつと——)

さうした信念に燃えるときの萩江は、濁りの無い清純な眸を輝つてゐるのだつた。

遠心的な眼で、宙を眺めて、そして、生代稻垣播磨守に嫁さぬ前の自分——いやもつと以前の、あの漢屋荒兵衛の娘助に、ゆるさぬ時代の娘心に還つて——

その眞十郎が、いま、眼の前に居るのである。

舞臺と——見物席との僅な距離をへだてただけで(もしッ!)

呼びかけたく血が躍る。だが。

それゆえに、見得を捨ては置けない。舞臺に、穴をあけることと、詰へものとも恥とせねばならぬと。

藝人!

あゝ、あたしも……

萩江は、胸の汐騷ひを悲しく包んで、堪えて、演技に心の中心を移した。

そして、眸は、瞬時も眞十郎を見失なふまいと働かせて突然、割れるやうな喝采が起つて、はじめて自分の役が終つたのを覺えるほど、心も空になつてゐた萩江が、舞台下手で待つてゐる長七に、急いで何か囁くと、慌ただしく樂屋に飛び込んだが——

其處には、太夫元——村の金方の酒屋の佐十が坐つてゐた。

「御苦勞さん——」

ふりかへつて、萩江を見上げ、にやり——と笑ひを投げてきた。

賣地

位置 ポンペイア市より九粁半リンス街道左側
面積 二十アルケール
内十アルケールはマツト、十アルケールは二年目
値段 面談の上調和を重ず

希望の方は左記にて御問合せ下さい

ポンペイア市 河野、横井商店

Domingos da Costa Mon's
Rua Florencio de Abreu, 50

エンセラード

珈琲乾燥場、荷車用エンセラード、收穫用袋、防水布、其他各種帶富在庫

◀ 卸賣販價廉 ▶

貸地

パ線ソエルソフ・ヂアス駅より四キロ、三千アルケールの土地を有するパライゾ耕地の一部を二年間貸し度し、最適なる故に前車より耕地迄後楽園迄は前機を所有なす人は自動車にて御視察は同耕地内アルメイダ氏又は三年契約にて貸し度し、穀物、綿、米、馬鈴薯、棉、印樣、ナムライ以内アルメイダ氏又は

御照會、御視察は同耕地内アルメイダ氏又は聖市内の左記へ

R. do Commercio 89 4° andar sala 10 C. Postal, 2336

讓店

今般工場設置のため繁榮中の店舗條件にて賣ります

種目 雜貨商、ガソリンポスト
家屋附
場所 聖市十二ケ年の經營日本語學校の側

問談 聖市コンセレーロ・フルタード街六四 中國館 小田

求女中

女中さん一名優遇す
御問合せは 千田寫眞館
サントス市プラツサ・ジヨゼ・ボニフアシオ二七番

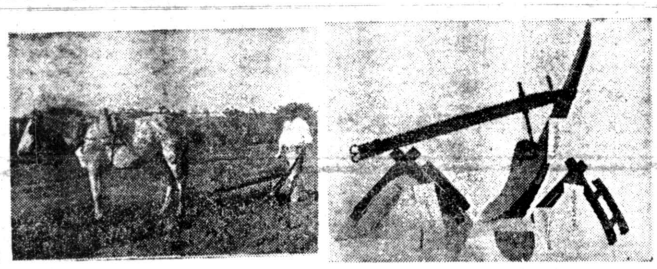
營業種目

衣類、樂器、帽子、運動具
家具、金物、古本其他百貨
一般通信賣買
中古品通信賣買

竹村之虎商會
電話二・七四二五
御申越次第カタログ送呈
市内は電話下されば參上致します
聖市イルマン・シンプリシアナ街拾五番地ホテル二階二號室
コンセリエイロ・フルタード街二七三番

C. Postal, 184 **OFFICINA KYONO** Bastos. E.F.S.

京野式 改良犁鞍の威力



改良犁 九〇ミルレース

手輕にて能率上り安價耐久力百パーセント深浅自由寸より尺に至る間、調節とれ人馬、勞力少く一頭の馬にて終日耕作に耐へ得る事

馬耕用改良鞍 三八ミルレース

牛馬の體力を利用し之に七と三の割合に引力を肩と胴に引かしむるため、如何なる馬にても終日耕作に耐へ得る事

人氣好評實力本位是非一度御試用あれ

ソロカバナ線バストス町 郵函一八四番

京野鐵工所 京野五郎

Pensão Nippon
S. Hayashida
R. Bern. de Campos, 407 Campinas

カンピーナス市 **日本旅館** 林田敏主館

賣家屋、土地

キタンダ盛業中
歸國に付至急譲りたし
(桜安にて)
場所 モインニョベーリョ(サコマン)
タバチンゲーラ街十番
浪花旅館方
電話二一〇五〇九

衛生上の注意

食物に氣を付け、胃腸器關の活動が完全である樣何時も注意が必要である。即ち塵がかゝつたり、蠅が止つたり暑さの爲に腐敗した食物を摂らぬ樣注意する事である。又外觀の美しさのみに欺されてはならぬ。危險な害物を含んでゐる事があるからだ。

時間外の間食にも注意が必要である、胃は一定の食事時間外は休息を必要とする故、何時もむやみに口を動かしてゐる人は胃が弱り、週期的に危險な下痢をする樣になる。

この場合は十二時間乃至十六時間の絶食を行ひバイエルの錠劑エルドフォルミオ"Eldoformio"を服用する事により下痢を癒し、腸粘膜の痛みをなくする

洋服の御註文は
寺本洋服店
聖市コンセレイロ・フルタード街一五四